

5. 整備方針

開発コンセプト及び4つの視点を踏まえ、北5西1・西2地区の整備方針を「街並み形成」「基盤整備」「機能集積」「環境配慮・防災」の4分野に分けて整理します。

5-1. 街並み形成「道都札幌の玄関口にふさわしい新たなシンボル空間の創出」

街並み形成の視点『道都札幌の玄関口にふさわしい新たなシンボル空間の創出』を実現するため、①～⑦の整備方針を定めます。

①シンボル性のある拠点の創出

- 札幌の新たなシンボルとなる拠点の創出を目指します。

②新幹線改札口との一体性確保

- 新幹線改札口と本再開発ビルとが一体感を持つよう接続するとともに、道都札幌の玄関口にふさわしい開放感のある設えを確保します。

③既存建物等とも調和する景観形成

- 高層部のセットバックにより圧迫感を軽減するとともに、建物低層部の軒高、色彩、意匠等、南口駅前広場や周辺建物との調和に配慮します。
- 南口駅前広場からの景観に配慮し、北5西2街区の建物高さは抑える一方で、北5西1街区は高度利用を図り、2街区間でメリハリのある景観を形成します。

④北5西1・西2地区の一体的な整備

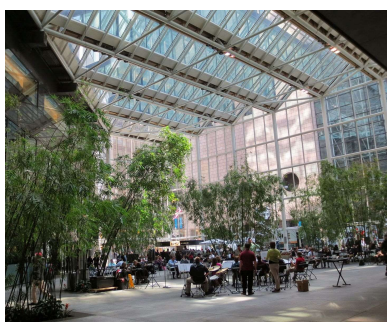
- 新幹線駅施設から既存の各交通機関とをつなぐ歩行者動線を連続的に確保でき、スケールメリットを活かすことができることから、北5西1・西2地区を一体的に整備します。
- 2街区の一体性確保のため、西2丁目線上空（デッキレベル）の利用を図ります。

⑤質の高いオープンスペースの創出

- 東西の人の流れを促し、両街区一体のにぎわいを生み出すオープンスペースを整備します。
- 四季を問わず快適に利用でき、災害時の一時滞在施設としての利用も考慮したゆとりある空間を整備します。



みどりが感じられる屋内空間のイメージ
三井JPビル（札幌市）



オープンスペースのイメージ
IBMビル（ニューヨーク）



1年を通してにぎわいある活動が展開される
オープンスペース
富山グランドプラザ（富山市）

⑥東西方向の連続性・展開性の確保

- ・ 南口駅前広場と一体的なにぎわいを作り出し、創成東地区へ波及させるような空間を整備します。
- ・ 南口駅前広場と連続する駅前の新たな顔となる空間を整備します。

【関連事項】

- ・ 人の広場として南口駅前広場の再配置（タクシープール等の再配置）を検討します。
- ・ にぎわいを創成東地区へも波及させるため、創成川通上空（デッキレベル）の利用を検討します。



駅前広場と一体的な空間作りのイメージ
博多駅前広場（福岡市）



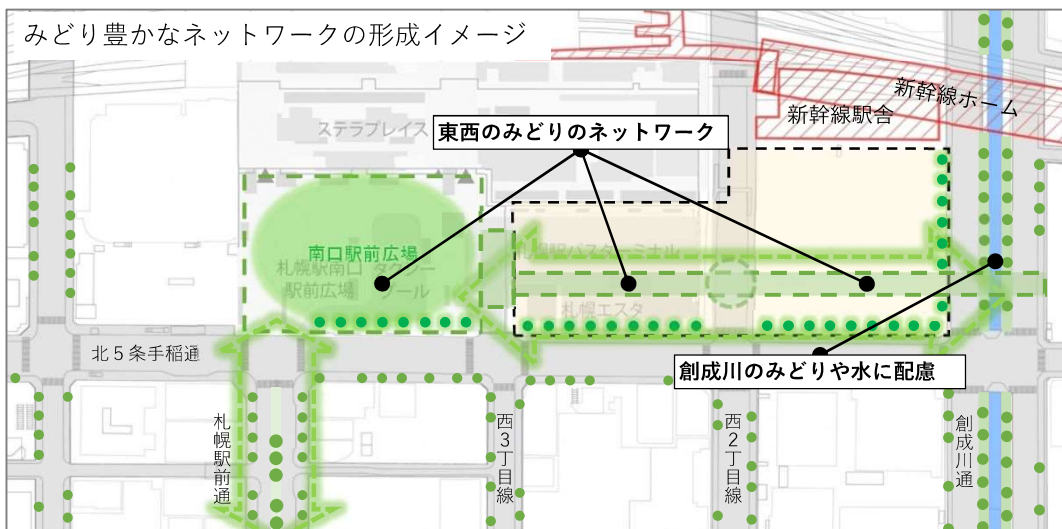
街区を横断した道路上空利用のイメージ
梅田一丁目一番地（大阪市）

⑦みどり豊かなネットワークの形成

- ・ 南口駅前広場から創成川通までの緑化など、都心のみどりのネットワークの形成を図ります。
- ・ 創成川のみどりや水に配慮した空間の形成を図ります。

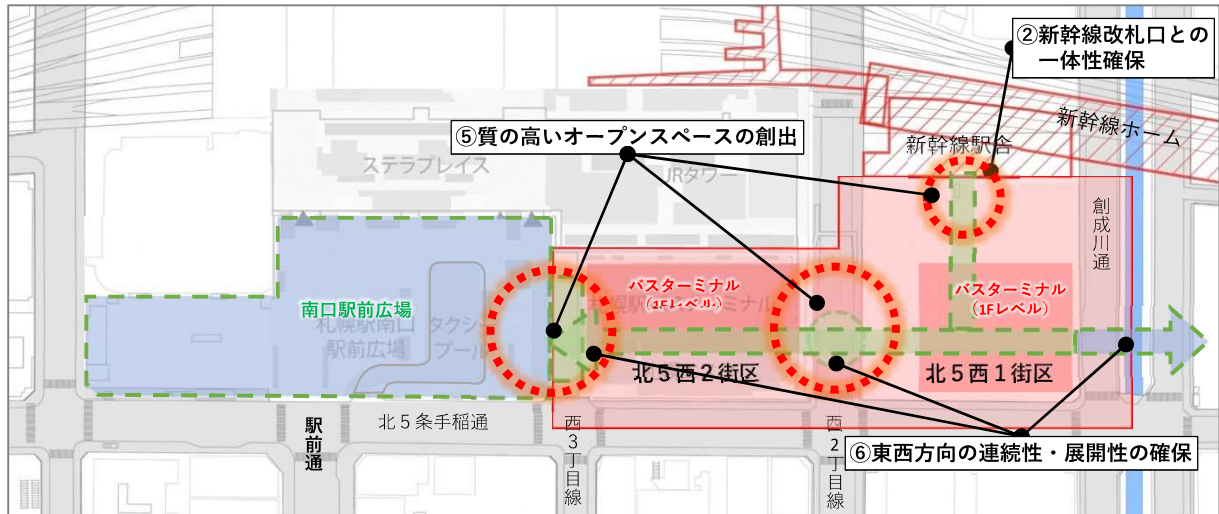


多様な緑化（街路樹や壁面緑化）のイメージ
東京スクエアガーデン（東京都 中央区）

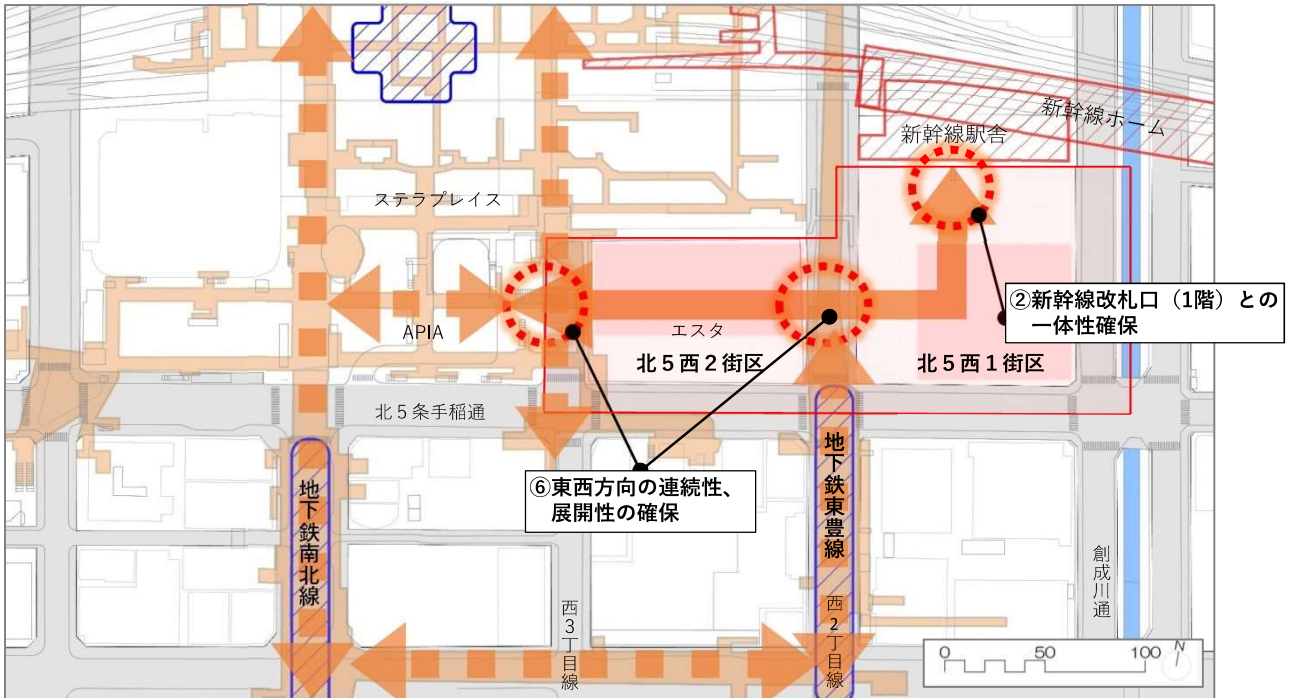


【対象区域における整備方針の全体イメージ】

街並み形成整備イメージ 地上・デッキレベル



街並み形成整備イメージ 地下1Fレベル



街並み形成整備イメージ 東西断面図

